

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2023年7月28日

事業ID: 2022S00673

事業名: 山口県宇部市の「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルにおける子どもへの体験機会の提供(2022)

団体名: 一般社団法人キッズラップ

代表者名 代表理事 金子 淳子

TEL: 0836-22-0006(金子小児科)

事業完了日: 2023年6月30日



■契約時

事業費総額	:	420,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	420,000 円

■箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	839,933 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	419,933 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	420,000 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

支援契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)支援契約書記載の事業内容(予定)

1. 沖縄県への宿泊体験旅行の実施
 (1) 時期: 2023年3月
 (2) 場所: 沖縄県
 (3) 対象: 子ども6名
 (4) 内容: 生活困窮等の理由により体験機会が少ない子どもたちが、新幹線や飛行機を乗り継いだ沖縄へ旅行し、宿泊体験、マリンアクティビティ体験、陶芸体験、地域住民との交流等を行う。



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1 沖縄県へのバス、飛行機などを利用した旅行
 (1) 時期: 2023年3月27日、28日、29日
 (2) 場所: 沖縄県
 (3) 対象: 子ども15名
 (4) 内容: 生活困窮等の理由によりさまざまな体験機会が少ない子どもたちが、バスや飛行機などを乗り継いで離島である沖縄県に旅行した。旅行が単なる観光に終わることなく、沖縄の文化、基地問題、返還の歴史などに触れる機会となるよう配慮し、子どもたち自身の意見を取り入れ、スケジュールを計画した等、新たな体験と学びの機会を創出し、知見の幅が広がることで将来の選択肢を増やした。

(3)成功したこととその要因

事業を実施し成功したこと、その理由を記載してください。
 予定していた参加者全員が旅行に参加し、無事に旅程を終えることができた。事前準備においては、多くの企業や団体、個人、行政から協力を得て、旅行に必要な物資(旅行バッグや時計、Tシャツなど)寄付金(お小遣い等)をいただいた。現地においては、琉球アスティーダ、日本ユネスコ協会連盟、沖縄県ユネスコ協会などの協力により、想定していた以上に数多くの体験・経験、学習機会を得た。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。
 陶芸体験については、子どもたちの希望はあったが、スケジュールがタイトで移動時間も含めスケジュールがあわなかったため。

(5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。
 報告書及び沖縄旅のしおり添付参照

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2自然体験、地域住民との交流の実施

(1)時期:2023年3月
(2)場所:沖縄県
(3)対象:子ども6名
(4)内容: コロナ禍で外出機会が減少している子どもたちが沖縄の海で、さまざまなアクティビティに普段関係性のあるスタッフと共に、安心して体験環境に配慮しチャレンジする機会を創出することで、基礎体力や心身の健康増進に繋がり、不安なく新たな体験を実施することができる。また、地域の大人や子どもたちとの交流の機会を通じて、パーベキューをしたり関わりを持つことで、子どもたちが将来の夢や希望を思い描くと共に社会性を育む基盤を啓発する。

(2)事業内容の実施(完了)状況

2自然体験、地域住民との交流の実施

(1)時期:2023年3月27日、28日、29日
(2)場所:沖縄県
(3)対象:子ども15名
(4)内容: コロナ禍で外出機会が減少している子どもたちが、沖縄の海などで普段関係性のあるスタッフと共にさまざまなアクティビティにチャレンジする機会を創出したことで、基礎体力や心身の健康増進、意識向上に繋げた。また、地域のさまざまな大人と清掃活動や交流会の機会に関わりを持ったことで、子どもたちが将来の夢や希望を思い描くと共に、社会性を育む基盤を創出した。



(3)成功したこととその要因

日本ユネスコ協会連盟、沖縄県ユネスコ協会の協力により、数多くの体験機会、地域住民との交流機会の提供があった。地域住民の方々の温かいサポートにより、子どもたちが積極的に体験プログラム等に参加したり、挨拶をしたりという様子が見とれた。

(4)失敗したこととその要因

特になし。

(5)事業内容詳細

報告書及び沖縄旅のしおり添付参照

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3宿泊体験の実施

(1)時期:2023年3月
(2)場所:沖縄県
(3)対象:子ども6名
(4)内容: 社会教育施設である「青少年の家」で子どもたちとスタッフが寝食を共にすることで、基本的な生活習慣と生活リズムの定着を図る。生活が不規則になっている子どもたちに、生活サイクルの改善及び健全化を図ることで、登校状態の改善及び登校日数の増加への一歩を啓発する。

(2)事業内容の実施(完了)状況

3宿泊体験の実施

(1)時期:2023年3月27日、28日、29日
(2)場所:沖縄県
(3)対象:子ども15名
(4)内容: 子どもたちとスタッフが寝食を共にすることで、基本的な生活習慣と生活リズムの定着を図った。生活が不規則になっている子どもたちに、生活サイクルの改善及び健全化を図ったことで、登校状態の改善及び登校日数の増加への一歩を啓発した。



(3)成功したこととその要因

2泊という極めて短期間であったが、子どもたちとスタッフが旅行の機会に寝食を共にすることで、3食食べ、入浴し、練るといふ、基本的な生活習慣を実践することができた。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

報告書及び沖縄旅のしおり添付参照

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

4社会科見学訪問の実施
 (1)時期:2023年3月
 (2)場所:沖縄県
 (3)対象:子ども6名
 (4)内容:日常の食事で沖縄の陶芸「やちむん」を食器で使用していることから、やちむん工房を訪れて製作過程の見学や体験を行い、陶芸職人等との交流を通じ沖縄の文化に触れることで、日常と沖縄の繋がり意識化を図る。これらから、沖縄の首里城や国際通りなど、子ども達の計画に応じた社会体験を行う中で、より沖縄に対する就学意識の向上を啓発し、子どもたちのより豊かな心の育成を促す。



(2)事業内容の実施(完了)状況

4社会科見学訪問の実施
 (1)時期:2023年3月27日、28日、29日
 (2)場所:沖縄県
 (3)対象:子ども15名
 (4)内容:美ら海水族館見学、糸満地域のビーチ清掃活動、首里城見学、ゆいレール乗車、国際通り散歩など、子ども達自身の計画を取り入れた社会体験を行った中で、さまざまな経験のなかから社会性や学ぶ姿勢を身につけたとともに、訪問地である沖縄に対する意識の向上を図ったとともに、子どもたちのより豊かな心の育成を促した。

(3)成功したこととその要因

多岐にわたる見学、訪問、体験活動を実施することができた。日本財団による資金援助の他、日本ユネスコ協会連盟をはじめとする数々の協力団体、企業や個人、地域住民の方々によるサポートをいただくことで、多様な学びの機会を得ることができ、理解の深度が増した。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

報告書及び沖縄旅のしおり添付参照

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)支援契約書記載の目標

支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。

1. 沖縄県への新幹線、飛行機などを利用した旅行の実施
2. 自然体験、地域住民との交流の実施
3. 宿泊体験の実施
4. 社会科見学訪問の実施

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	358	文字数チェック	OK
<p>事業完了後の目標達成状況を700文字以内で明記してください。 ※目標を複数設定している場合は、各目標ごとの達成状況を個別に記入してください。</p> <p>1. 参加者が多かったため、新幹線の利用を断念し、バス、飛行機の利用に変更したが、旅程は予定通り実施できた。 2. 沖縄のビーチや施設での自然体験、地域住民との交流機会は、多くの関係団体の協力により実施することができた。 3. 生活習慣と生活リズムの定着を目的とした宿泊体験は、2泊と短期間であったが、その後の子どもたちの変化につながる経験となった。 4. 沖縄県内の観光地の他、歴史や文化に触れる機会を得た。地元支援者からいただいたお小遣いで買い物や体験し、お金の出納管理も学ぶことができた。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果は「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」のかを記載して下さい。
複数年計画がある場合、複数年計画の「****年**月頃に*****が*****になっていることを目指す」のかを、最終目標(中長期目標)として記載して下さい。
施設や機器整備した場合、整備した数年後に見込まれる成果(例えば2年後、3年後)を設定し、「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」かを、中長期目標として記載して下さい。
団体旅行の実施により、拠点での活動では上手くできていなかった集団行動やルールの遵守が、少しずつできるようになった。お互いを気遣い、周囲に配慮すること、挨拶やお礼などの常識的な行動や礼儀が身につくなど、一人ひとりに成長がみられた。旅行の準備期間を含めて、入浴、洗髪のを機会を重ねていくことで、兄弟全員の衛生観念の向上がみられ、「ゴミ屋敷」であった家庭への介入と清掃が可能となったケースがあった。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

困難な環境にある子どもたちにとって、遠隔地への旅行という普段できない経験は、大いなるプラスの影響をもたらす。一方で、このような環境に育った子どもたちは、認知や行動において定型発達の子どもたちと異なり、配慮を要することが多いため、活動に際して多くの人員が必要となる。加えて、旅行のために必要なかばんや衣服、履物等を、家で準備することができないため、申請費用外の支出の積み増しを要した。今後、このような資金援助が行われる際には、細やかな配慮が求められると感じた。加えて、一度の旅行機会だけでは、変えることのできない家庭等の環境下に戻ると、その効果は徐々に薄れていくと感じる。年に一度でなく、もう少し詰めた間隔での経験機会の提供が望まれる。

5.事業成果物

(1)支援契約書記載の成果物名称

支援契約書記載の成果物名称を転記してください。
報告書

(2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。
※チラシ、ポスター等の印刷物については作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。
報告書
沖縄体験旅行フォトブック



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)
上記で登録したURLをご記載ください。
沖縄体験旅行フォトブックについては、子ども達の顔が掲載されているため、登録はしていない。
(沖縄体験旅行フォトブックは、キッズラップで保管している)

